令和７年度　二色福祉会 ホーム夢二色　地域連携推進会議　議事録

１．日時

令和７年 12 月６日（土）　10：30～12：10

２．場所

ホーム夢二色３号館　食堂

３．出席者　　７名（構成員４名、職員３名）

①利用者代表	１名	
②家族代表	１名	
③地域の関係者	１名	（グループホーム所在町在住者）
④福祉の知見者	１名	（社会福祉協議会職員）
⑤法人本部		中司 善朗　総合施設長
⑥事業所		長井 敬治　ホーム夢二色 管理者兼サービス管理責任者
⑦事業所		北所 忍　　ホーム夢二色 生活支援員

４．議題

①開会の挨拶と趣旨説明

②出席者の紹介

③グループホームの見学

④グループホームについて

⑤質疑応答・意見交換

５．配布資料

①地域連携推進会議の概要（構成員向け）

②ホーム夢二色地域連携推進会議要綱

③2025 年度 ホーム夢二色　地域連携推進会議 資料(グループホームについて)

６．議事

①総合施設長より開会の挨拶のあと、会議の趣旨を配布資料①に沿って、会議の４つの目的と構成員の役割、施設訪問時に確認するポイントの説明を行なった。

②総合施設長より出席者の紹介を行なった。

③2 グループに分かれて、ホームの見学を行なった。

グループ A(利用者代表・家族代表)　：　４号館（建設中）→1 号館→3 号館

グループ B(地域関係者・福祉知見者)：　４号館（建設中）→2 号館

④管理者より、配布資料③を基にグループホームの説明を行なった。

(1)ホーム夢二色の概要

・１号館　定員：男性１０名・ショート男性４名

・２号館　定員：女性１０名・ショート女性６名

・３号館　定員：１０名(男性５名・女性５名)

・４号館　現在建設中。２０２６年開所予定。

・その他平均年齢、平均支援区分、入居者の日中活動先について説明を行なった。

(2)ホーム夢二色の様子

・１日の日課について説明を行なった。
平日の朝食と夕食は調理員が作り、各ホームに配達し、各ホームで盛付けしている。

・余暇や取り組みの様子の写真を見ながら説明を行なった。

(3)基本勤務体制と必要経費

・管理者・サービス管理責任者１名　生活支援員（正規職員）３名　内１人作業所兼務世話人・生活支援員（非常勤）25 名　調理員(非常勤)2 名

・3 ホームに 5 人の夜間支援員を配置。緊急時には複数名配置ホームから応援に行くことにしている。

・現在の各ホームの家賃・水光熱費・食費その他必要経費の説明を行なった。

(4)危機管理と職員研修

・BCP(業務継続計画)の作成状況と、研修、訓練について説明を行なった。

・消防訓練の実施状況について、今年度１回目と２回目の比較説明を行なった。

・事故報告とヒヤリハットの件数と内訳について説明を行なった。

・年 3 回のスタッフ研修会とその内容について説明を行なった。

・世話人・生活支援員の新規採用時の研修について説明を行なった。

⑤質疑応答・意見交換

地域関係者：どのホームもきれいにされているのがよくわかった。

家族の代表：ヒヤリハットでアルコールを飲んでいた件について質問があった。

→回答　：利用者の中にはアルコールを買って飲んでいる人もいる。制御できなかったり、酔っぱらってしまうようなら止めるが、適量で、コントロールでき、健康や周りに影響なければ禁止はしていない。このヒヤリハットは、敷地外の駐車場で座って飲んでいたのを発見したため、ホームの自室で飲むように助言した件であることを伝えた。

地域関係者：１人で外出したりお金を自己管理していて食べすぎたりする人はいないかとの質問があった。

→回答　：そのような利用者は居ます。工賃を自己管理していたが、週末に買い食い激しく、嘔吐したケースがあった。嘔吐は一回だけであったが、その後管理者からも世話人・生活支援員からも数週間にわたって助言したが、改善できな

かったので、本人、後見人と話してやむなく週に１度の小遣い制にして金額も制限させてもらった。その結果、週末の１人外出で、例えばバーガーのセットを１つくらいに抑えることができている。週小遣いの金額を制限した代わりに、ガイドヘルパーとの外出回数を増やし、そちらでお金を使えるように配慮していることを伝えた。

福祉知見者：消防訓練などは現実に火事が起きた時の為に大切なこと。１回目の課題を２回目で解決し、避難に要する時間を短くできていることに感心する。ホームを見学した時に利用者名を貼っているマグネットボードがあった。用途は不在時には裏返して、緊急時に誰が居て誰が居ないのかをわかるようにしているとのこと。とてもいいアイデアだと思う。活用方法を聞くとその場に貼ってチェックしているだけということであったので、実際の緊急時には持ち歩いてチェックするなど、もっと有効に使えるのではないかと感じた。

→回答：助言いただいた内容をホーム内で検討し、有効に活用できるようにしたい。と返答した。

福祉知見者：利用者代表に対して、ホームでの生活はどうか。楽しいこと、困っていることはないか。との問いかけがあった。

利用者代表：楽しく過ごしている。休みの日などは自分の部屋でミサンガをつくったり、折り紙をしたり、DVD を観たりして過ごしている。たこ焼きパーティが良かったのでまたしてほしい。前に BBQ をしたこともあったが、最近していないのでまたしたい。と答えた。

家族の代表：娘がホームを利用している。週末は帰省しているが、月曜日にホームに行く時、嫌がることはなく、楽しみにしている様子が見て取れ、ホームで良くしてもらっているのがよくわかる。ホームでは絵を描いたりして過ごしているようだが、アニメが好きで、家に帰ってきたらケーブルテレビのアニメ専門の有料チャンネルをよく観ている。ホームでは地上波しか観られないので、お金のかかることだから仕方がないが、有料チャンネルも観ることができたらいいと思う。

⑥閉会のあいさつ

総合施設長より、構成員に謝辞を述べ、12 時 10 分に閉会した。